

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	資源の有効利用促進に係る適正化事業費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	リサイクル推進室	室長 上田康治		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	資源の有効な利用の促進に関する法律	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)に基づき、事業者等は指定再資源化製品(パーソナルコンピュータ(パソコン)及び密閉型蓄電池(二次電池))について、自主回収を行い再資源化(リサイクル)することが義務付けられている。本事業においては、指定再資源化製品等に関する法の施行状況を把握し、適正な回収・リサイクルを推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	指定再資源化製品等に関する法の施行状況に関し、現在、指定再資源化製品の対象外製品(プリンタ、小型家電等)について、リサイクルの可能性や現在の処理状況の調査を行うとともに、リサイクル技術の開発状況の把握・評価及び現状の回収制度についての排出者アンケートに基づく改善策を検討する。					
実施状況	使用済携帯電話について、指定再資源化製品としての指定の可能性の検討を行うとともに、事業者による自主回収の取り組みを促進するためのキャンペーンを実施。 ※(0105)使用済電気電子機器の有害物質適正処理及びレアメタルリサイクル推進事業費と一体的に実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	17	26	24	13	12
	執行額	0	0	10		
	執行率	0%	0%	42%		
	総事業費(執行ベース)	0	0	10		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	業務執行に先立ち請負業者より業務実施体制・実施予定等について聴取するとともに、業務実施中にも適宜報告を受け、実施状況を把握した。 なお、事業実施に当たり、製造業者等の関係者からなる会議を開催し、事業の方向性及び効率的な実施について検討を適宜行った。 また、事業によって得られた成果については関係者会議で報告し、内容の適切性及び今後の進め方について議論を行った。				
	見直しの余地	これまでの調査で得られた知見をもとに、指定再資源化製品への機器追加の必要性について検討を行い、検討結果を踏まえて今後の事業規模を決定することにより、事業の効率化に努める。				
予算チームの所見	一部改善 (複数年にわたり実施している事業であり、広報にかかる経費などを中心として内容を精査すること等により、予算額を節減すべき。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
10 百万円



【総合評価入札】

A
(財)水と緑の
惑星保全機構
10百万円

使用済携帯電話回
収促進に係る調査

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(財)水と緑の惑星保全機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	使用済携帯電話回収促進調査業務	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0